

# 社員を活かす 働き方改革

コロナ禍でテレワークやペーパーレス化が一気に進み、日本の働き方改革は広まったかのように見える。しかし、真の働き方改革は、単なる業務改善ではなく、働く人々が能力を最大限活かせる環境をつくることではないだろうか。未来につなげる改革に取り組んでいる企業を追った。

取材・文 中沢明子



なかざわ・あきこ 1969年東京都生まれ。ライター、出版ディレクター。女性誌、ビジネス誌など幅広い媒体でインタビュー、ルポルタージュ、書評を執筆。企業や自治体によるオウンドメディアのアドバイザーも務める。著書に『埼玉化する日本』(イースト新書)など

CASE

1

株式会社楓工務店

〈企業データ〉

事業内容/注文住宅の建築・設計・不動産事業など  
創業/1997年 従業員数 88名 本社所在地 奈良県奈良市

## 徹底した仕組み化で、 時代に合った働き方を模索し続ける

住宅業界の離職率、転職率が高い。だが、注文住宅を手がける楓工務店では、過去八年間で五〇名の新卒スタッフを採用している。その背景には、社長の田尻忠義さんの「人こそが自社の強み」という信念とロジカルな戦略がある。

### 「見て覚える」は 人材育成の放棄

田尻社長は大工として業界に入り、年月をかけて腕を磨いた。しかし、いくら腕を磨いても住宅業界の

川下にいると、川上の住宅メーカーとの意思疎通が難しく、お客様の希望を一〇〇%叶えられないジレンマに苛まれる場面が何度もあったという。

「下請けとして図面通りに造るだけ、になりがちなんです。現場でお

お客様に『妻の背丈に合わせたキッチンの高さにしてほしい』とリクエスト

トされても、ハウスメーカーの下請けでは叶えられません。一生に一度の買い物でお客様の夢が詰まった住宅に最初から不満を持たれることほど、つらいことはない」

代表取締役 田尻忠義



だから受注からワンストップで、理想の家づくりを叶える会社を一九九七(平成9)年に立ち上げた。企業理念は「笑顔を創造し続ける」である。

「お客様はもちろん、弊社で働いてくれる社員にも笑顔になってもらい